

モンディ・グループ

包装業務効率化に役立つプラットフォームでサステナビリティの実現に取り組む

イギリスのロンドンに本社を置くモンディ・グループは、30カ国以上に展開する100の生産拠点で、2万6,000人の従業員を擁し、包装・製紙業を営むグローバル企業です。森林管理やパルプ・紙・プラスチックフィルムの生産から、産業用・消費者用パッケージ・ソリューションの開発・製造まで担っており、バリューチェーンを統合しています。2020年、同社は売上高66億6,000万ユーロ、EBITDAにおいては13億5,000万ユーロを達成しました。

ビジネス課題

オンラインショッピング市場の急速な拡大に伴い、ラストワンマイル配送用のパッケージの需要が高まっています。モンディ・グループは、新しいビジネス・チャンスを獲得するとともに、サステナビリティの目標を達成する方法を模索していました。

トランスフォーメーション

モンディ・グループは事業を中断することなく、次世代のERPである「SAP S/4HANA®」へ移行するために、キンドリルを採用しました。新しいSAPプラットフォームは、高性能な「IBM® Power Systems™サーバー」とフラッシュ・ストレージで稼働しており、データは定期的にクラウドにバックアップされます。

結果

「SAP S/4HANA」へのシームレスな移行を実現しつつ、事業中断を回避

エンドユーザーのアプリケーション・パフォーマンスが20%向上し、業務効率化を実現

ミッションクリティカルなSAPソリューションを24時間365日運用

「これまで10年以上にわたりSAPシステムのサポートをキンドリルのマネージド・サービスに任せてきましたが、期待通りの働きをしています」

モンディ・グループ
CIO
Rainer Steffl 氏

SNSでシェアする



ビジネスを成長させながら地球環境を守る

ネット通販の普及に伴い、ラストワンマイル配送用パッケージの需要も年々高まっています。このビジネス・チャンスを逃さず、なおかつ自社のサステナビリティの目標を達成したいとモンディ・グループは考えていました。

そこで同社は、キンドリルに所属するインフラストラクチャーのエキスパートに、次世代ERPであるSAP S/4HANAに適した、堅牢で高性能なプラットフォームの構築を依頼。

キンドリルが管理・保守する同ソリューションにより、モンディ・グループは、取引が増加しても高い業務効率を維持しながら、サステナビリティの目標も達成できました。

データを使用したグローバルオペレーション

毎年、何百万人もの消費者がインターネットで買い物をするため、ラストワンマイル配送用の使い捨てパッケージの消費量が世界中で急増しています。

大手包装メーカーであるモンディ・グループにとっては、環境保護とサステナビリティの実現は最優先事項と言えます。「モンディ・アクションプラン 2030 (以下、MAP2030)」は、同社の気候変動対策を実現するための重要な要素です。

MAP2030には、生産時の無駄を最小限に抑えつつ、業務を合理化し、効率的なロジスティクスの実現を目指すという目標があります。

世界中の事業の統合を強化し、MAP2030の達成に向けた意思決定を実行するために、同社はSAPソリューションとインフラストラクチャーのエキスパートであるキンドリルへ依頼することにしました。

同社のCIOであるRainer Steffl氏は、次のように述べています。

「キンドリルとの協業により、15カ国に点在する40もの工場を、最先端のSAP S/4HANAプラットフォームに移行できました。このプロジェクトはまだ始まったばかりですが、エンドユーザーのアプリケーションのパフォーマンスはすでに20%向上しており、社員はより効率的に業務を遂行できています。キンドリルは、SAP S/4HANAの新しい分析ワークロードをサポートするパートナーであり、将来における運用効率とサステナビリティを高めてくれるでしょう」

「キンドリルと実施したSAP S/4HANAへの移行は、これまで関わったプロジェクトの中で最もスムーズに進みました。移行期間中は新型コロナウイルスにも対応していましたが、キンドリルが世界中のリソースを全て活用してプロジェクトを進めてくれたので、予定どおりに稼働できました」

モンディ・グループ
CIO
Rainer Steffl 氏

より良い世界への貢献

何十年もの間、モンディ・グループが世界中の製造・サプライチェーンのプロセスをサステナブルな方法で管理する上で、デジタル技術は重要な役割を果たしてきました。

「未来の世代のためにより良い世界を築くよう努力しています。MAP2030には、2025年までに製品の100%を再利用、リサイクル、堆肥化可能にするなどの項目が含まれています。

工場を最適な方法で運営し、MAP2030を達成するためにデータ活用は重要です。たとえば、製造プラントでは、センサーを使用して廃水処理プロセスを監視し、高い環境基準を維持しています」(Steffl氏)

これらのデータから得られるインサイトを収集、測定、実行するためにも、SAPは同社にとって重要なプラットフォームと言えます。

次世代ERPであるSAP S/4HANAを導入したことで、同社は意思決定プロセスにおいてより深い分析を組み込むようになりました。特に、SAP S/4HANAから得られるリアルタイムのインサイトが、重要なワークフローの計測と自動化に役立ち、業務効率をさらに高められることに気付いたと言います。

「SAP S/4HANAは、当社が掲げるサステナビリティの目標を達成する最適な基盤だと確信しています。当社は、この移行プロジェクトを支援してくれるパートナーを探していました」(Steffl氏)

信頼できるプラットフォームの選択

SAPはグループ全体のミッションクリティカルなプラットフォームであるため、モンディ・グループは、世界中のビジネス・ユーザーが24時間365日ソリューションを使えるようにする必要があります。

同社は長年にわたり、キンドリル(元IBM®インフラストラクチャー・サービス)のインフラストラクチャーのエキスパートを信頼し、キンドリルはSAP環境のレジリエントなシステムやストレージ、ネットワーク機能を提供してきました。

「当社のほぼ全ての業務がSAPシステムに依存しているため、万が一生産環境に何らかの問題が生じた場合、数時間のうちに何台ものトラックが工場の門前で立ち往生するでしょう」(Steffl氏)

Rainer Steffl氏は、キンドリルを採用することになった理由を、以下のように明かします。

「これまで10年以上にわたりSAPシステムのサポートをキンドリルのマネージド・サービスに任せてきましたが、期待通りの働きをしています。そのため、当社は新たなSAP S/4HANA環境への移行に、キンドリルの力を借りることに決めました」

SAP S/4HANAへの移行に際して、事業を継続することは、同社にとって不可欠な要素でした。

新しいSAPソリューションに高い性能や信頼性、可用性を提供しながら、ダウンタイムなしで移行を完了させるために、キンドリルは「IBM PowerSystems™サーバー」と低遅延の「IBM FlashSystem® 7200ストレージ」をベースにした高性能なプラットフォームを設計。

「キンドリルの提案するアーキテクチャーが、ビジネス価値を最大限引き出すのに役立つと信じていました」とSteffl氏は語ります。



クラウドでの拡張性を確保

デジタル・トランスフォーメーション・イニシアチブの第一段階の成功を受け、モンディ・グループはグローバルなビジネス・ユニットをSAP S/4HANAに移行する準備を進めています。

最先端のデジタル技術の基盤を築くとともに、MAP2030の達成に向けて、現在はSAP S/4HANAの機能を、同社のワークフローに組み込む方法を模索しています。

Rainer Steffl氏は、以下のように語ります。

「SAP S/4HANAは倉庫の在庫レベルをリアルタイムに把握できる上、生産スケジュールと物流業務をさらに細分化できます。また、『SAP Fioriモバイルアプリ』を使って、重要なインサイトをマネージャーがすぐ利用でき、迅速な意思決定に役立てられます」

同社は現在、キンドリルと協力して、「Red Hat® OpenShift」の活用を検討しています。このソリューションは、パブリッククラウド、プライベートクラウド、ハイブリッドクラウドにおけるSAPワークロードのスケラビリティとポータビリティを強化できます。

「当社は現在、Red Hat OpenShiftを試用しています。これは、ベンダー・ロックインのリスクを回避しながら、クラウドのメリットを享受できる優れたテクノロジーです。コンテナ化されたワークロードをクラウド・プロバイダー間、またはオンプレミス・プラットフォーム間でシームレスに移行でき、長期的な視点で環境を最適化してコスト効率を確保できます」(Steffl氏)

長期的なパートナーシップ

SAP S/4HANAへのシームレスな移行のために、キンドリルは、モンディ・グループのIBMサーバーをベースにした高性能なプラットフォームの構築をサポートしました。

キンドリルは、モンディ・グループのSAP環境を管理・運用し、「IBM Cloud® Backup」で定期的にバックアップしています。

「キンドリルは業務を進めるために、必要なグローバル・リソースを提供してくれました。キンドリルは非常に迅速に対応してくれるので、契約の変更やエスカレーションを待つ必要はありません。SAP S/4HANAへの移行を次の段階へ進めるにあたり、緊密なパートナーシップを継続したいと思っています」(Steffl氏)

プロジェクト中に新型コロナウイルスのパンデミックが発生したものの、キンドリル、SAP、モンディ・グループは協力して作業をスピーディーに進めました。そのため、生産システムに影響を与えることなく、グローバル・パッケージング事業を、わずか8カ月でSAP S/4HANAに移行できました。

「志を同じくするサステナブルなパートナーを高く評価しています。当社のグローバル・ビジネスをキンドリルが管理・保守するSAP S/4HANAに移行することで、サステナビリティの目標の実現に必要なデータに基づいて考察できます」(Steffl氏)

「SAP S/4HANAのインメモリー機能を採用することで、保存できるデータは1カ月あたり約9TB増えます。キンドリルは、当社の長期的なサステナビリティ、効率性、運用戦略を満たすために、拡張性に優れて信頼性が高く、高性能なプラットフォームを提供してくれました」

モンディ・グループ
CIO
Rainer Steffl氏

kyndryl™



次のステップに進みましょう

キンドリルがどのように社会の生命線を担う重要なシステムを
進歩させているのか、詳細をご覧ください。

© Copyright Kyndryl Inc. 2021 Kyndryl は、米国もしくはその他の国における Kyndryl Inc. の商標または登録商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ Kyndryl Inc. または他社の商標である場合があります。本資料は発行時点で最新のものであり、キンドリルが随時予告なしに変更する可能性があります。キンドリルが事業展開するすべての国で、全製品もしくはサービスが利用できるわけではありません。



リサイクルしましょう

